

講 評

評 価 委 員 宮 崎 叶

20題の研究発表が別紙プログラム[※]に従って行なわれた。初年度であることを考えさせないような充実したものばかりで、1題を除いては早急に行政に反映させることもできるものと思われた。

発表は1題ごとに、評価委員をまじえての質疑討論でしめくくって進められたので、来年度の充実が期待される。

質疑討論のために会の進行が大幅に遅れたため、母子健康手帳の改訂に関する研究関連の4題の質疑討論が割愛された。これは発表会主催者がらみの研究であったための参会者への遠慮でもあったかと思われ、この研究が息長く続けられるべきものであることを考えれば、今回はそれでよかったと判断された。しかし評価委員としては発言の義務があると考えるので一筆すれば、高橋悦二郎班長発表の幼稚園・保育所に於ける母子健康手帳利用度調査で、保育所の利用率51.1%に対し幼稚園は28.5%と低いことが判明したことで、小学校入学前に幼稚園と保育所で保育を受ける比率はほぼ2:1なのであるから、年長幼児の利用率の低いことに対する対応の一つは幼稚園への働きかけであり、これが母子健康手帳と学校保健を繋ぐことにもなるから、早急に対策を発足させるべきと思われた。他の3題は母子健康手帳改訂の要求の多様性とこれにコンパクトな形で応じることの困難さを感じさせるが、前述のように息の長い研究調査がいるであろう。

冒頭にこの班の研究になじまないのではと記した研究は堤 紀夫氏の新しい母子保健指標の策定で、まじめな基礎的研究であるが、行政に利用できるまでに20年をようすと思われるからである。

※ 次頁参照

昭和58年度 研究報告会 プログラム

会場：愛育会総合母子保健センター 2階 第1研修室

日時：昭和59年3月10日(土) 午前10時～午後4時

開会の挨拶

班 長

高橋悦二郎

厚生省母子衛生課

関 修一郎

研 究 報 告 (研究課題)

(演者)

- ## 1 小児の食事と血清脂質の関連に関する研究

日大小児科

彦真国大

- ## 2 環境汚染の母子保健に及ぼす影響（油症）

長崎医大小児科

辻 芳 郎

- ### 3 母子健康手帳の改訂に関する研究

＊幼稚園・保育園における母子健康手帳利用状況

日本総合愛育研究所

高橋悦二郎

＊地域母子保健推進のための母子健康手帳改訂への試み

京都府宮津保健所

戸 沢 睦 彦

*母子健康手帳の活用状況について

松山中央保健所

木村真理

*母子健康手帳利用に関する基礎調査

三重県保健衛生部

渡 辺 瑞 代

- 4 母親学級における精神・心理面および栄養に関する指導方針に関する研究

愛育会総合母子保健センター

堀口貞夫

- 5 諸外国の母子保健制度に関する研究

日本総合愛育研究所

網 野 武 博

6 特殊ミルク安定供給に関する研究

*早期発見による先天代謝異常症の治療の現状

日大小児科 近 藤 和喜夫

*特殊ミルク安定供給のための治療例の解析の試み

愛育会総合母子保健センター 青 木 菊 麿

7 和歌山県における母子保健システムと乳幼児死亡に関する研究

東大医学部公衆衛生学教室 松 本 信 雄

8 乳幼児の身体発育に影響を及ぼす社会的環境条件に関する研究

国立公衆衛生院 高 石 昌 弘

9 小児慢性疾患の疫学調査

山梨医大小児科 大 山 建 司

10 新しい母子保健指標の策定

国立大蔵病院産科 堤 紀 夫

11 乳幼児保健指導のあり方に関する研究

*新生児訪問指導の実態

国立公衆衛生院 高 野 陽

*里帰り分娩の実態

日本総合愛育研究所 加 藤 忠 明

*砺波市における乳幼児保健指導

富山県福野保健所 中 田 慶 子

*鳥取県一保健所における母子保健の実態

鳥取県衛生環境部 小 田 清 一

*広島県における乳幼児保健指導

広島県環境保健部 稲 葉 博

講 評

評 価 委 員 松 本 清 一

宮 崎 叶

岡 宏 子

厚生省母子衛生課 関 修一郎

閉 会